

政権交代と世代交代

牧原 出（東北大学）

(1) 2009年以降の政治の特質

- ・自民党長期政権の終焉
- ・構造分析の破綻
- ・「見立て」が困難

(2) 「見通し」は可能か？

- ・「見通し」と現実のずれ
見通しの破綻か、現実が危機的状況だからか？
- ・「見通し」の軸は何か？

(3) 現代政治の基点としての石油危機

- ・「新中間階層論」
- ・「生涯設計計画」
不安の3要因：福祉向上に結びつかない成長、生涯設計を狂わせたインフレーション、
ライフサイクルの変化に対応していない労働慣行
4つのライフステージ：出生から学校教育終了、家庭を築くまで、定年まで働く時期、
老後の時期
諸制度のシステム化：教育、住宅、社会保障、老後

(4) 世代区分とライフサイクル

- ・生涯設計のターニング・ポイントをどう作るか
将来世代への配慮義務の区別
ITなど新技術を介するコミュニケーションの質的な差異
(例)
- | 0 | ～25 | ～45 | ～65 | 老後 |
|--------|--------|--------|--------|----|
| 自立基盤育成 | 労働技術習熟 | 労働能力発揮 | 余力活用 | |
| 学校社会 | 新IT活用 | 旧式IT | コミュニティ | |
| 配慮義務微 | 配慮義務軽 | 配慮義務高 | 配慮義務中 | |
| 教育 | 労働規制 | 安全・安心 | 社会保障 | |